

所属	人間社会学部・一般教育	職名	講師	氏名	金 恩愛
----	-------------	----	----	----	------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

東京外国語大学大学院地域文化研究科 博士後期課程単位取得満期退学。研究分野は、日韓対照研究。とりわけ、日本語と韓国語における表現様相の相違点の解明を中心テーマとする。韓国語と日本語は、同じ漢字文化圏という背景とともに、文法的な類似性もあって、両言語間に存在する表現様相の違いにはなかなか気づきにくい。私は、日本語と韓国語のこうした違いを、表現のあり方を問う表現様相という観点から捉えなおしている。表現様相という観点から見たとき、まず言えるのは、日本語は韓国語に比べ相対的に名詞的な表現が好まれ、韓国語は日本語に比べ相対的に動詞的な表現が好まれるという点である。こうした日韓表現様相論に立脚した研究成果は、言語教育にも即応できるものである。今後は、韓国語と日本語における表現様相の違いを明らかにしていく研究とともに、そこから得られた研究成果を、言語教育の現場にどのように還元できるか、教材作りや、辞書編纂、日韓翻訳という角度から考えていきたい。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

- ・金恩愛(2008)「表現様相の研究と研究の方法論—韓国語と日本語の対照研究—」(原文は韓国語)、『外国語としての韓国語教育』33輯。ソウル：延世大学校言語研究教育院韓国語語学堂
- ・金恩愛(2009a)「日本語の「名詞+の+名詞」は 韓国語でいかに現れるか—第3の類型について—」『カルチュラル(明治学院大学 教養教育センター紀要)』第3巻1号。横浜：明治学院大学教養教育センター
- ・金恩愛(2009b)「日本語と韓国語における表現様相の研究—日本語母語話者のための韓国語教育への応用—」『朝鮮半島のことばと社会—油谷幸利先生還暦記念論文集』東京：明石書店

### ②その他最近の業績

<学会発表>

- ・金恩愛(2010)「表現様相論の観点からみた日韓対照研究—言語教育への応用」、韓国日本語教育学会・第18回国際学術発表会、ソウル：培花女子大学
- ・金恩愛(2011)「日韓対照研究のあり方—提案：表現様相論からの日韓対照研究—」、韓国日本語学会・第23回国際学術発表会、ソウル：建国大学校
- ・金恩愛(2012)「韓国語における五段階」研究会：国立国語研究所共同研究プロジェクト 東京：国立国語研究所 2012年3月10(土)

<共同研究プロジェクト>

- ・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所 平成22年度・平成23年度 国立国語研究所共同研究プロジェクト「形容詞節と体言締め文：名詞の文法化」「節連接へのモーダルの・発話行為的な制限」

### ③過去の主要業績

- ・金恩愛(2003)「日本語の名詞志向構造と(nominal-oriented structure)と韓国語の動詞志向構造(verb-oriented structure)」『朝鮮学報』第188輯。天理：朝鮮学会
- ・金恩愛(2006)「日本語の「-さ」派生名詞は韓国語でいかに現れるか—翻訳テキストを用いた表現様相の研究—」『日本語教育』129号。東京：日本語教育学会
- ・油谷幸利、金恩愛(2007)『韓国語実力養成講座1間違いやすい韓国語表現100 初級編』東京：白帝社 総233頁

### 3. 外部研究資金

- ・文部科学省、平成23年度・科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究、研究課題名：日本語と韓国語における「直訳できない構造」について、研究代表者：金恩愛、課題番号：23652090、交付予定額：910,000円、研究期間：平成23年度

### 5. 所属学会

- ・朝鮮学会、朝鮮語教育研究会、日本語教育学会、韓国日本語教育学会、韓国日本語学会

### 6. 担当授業科目

- ・コリア語Ⅰ-(1)・コリア語Ⅰ-(2)・2単位・1年・通年、コリア語Ⅱ-(1)・コリア語Ⅱ-(2)・2単位・2年・通年、コリア語Ⅲ-(1)・コリア語Ⅲ-(2)・2単位・3年・通年、教養演習・1単位・1年・前期、韓国の社会と文化・2単位・2年・後期

### 7. 社会貢献活動

- ・第3回 「話してみよう韓国語」福岡大会 審査員 2011年12月18日(日)

### 8. 学外講義・講演

- ・第5回 韓国語教師研修会（福岡研修）講師 2011年11月26日(土)
- ・人文科学の現在7 「外から見た日本語—対照研究とは何か—」千葉大学にて講義 2011年12月7日（水）、2012年1月25日（水）